

グリーンバンクサポータークラブ会報

第78号

2020年8月28日発行 会員数59



“草薙の輪プロジェクト”

左から大石道子さん、瀧絹代さん



“あいの街高松花の会”

戸塚紀美江さん



“花と緑の街づくり協議会

駿府公園 北門花壇 “

左から石川みさ江さん、前田美千代さん、青木登紀子さん

コロナの状況だからこそできること

会員の皆様には、7月の長雨、明けて8月の酷暑、コロナ感染の拡大は収まらないこの状況の中でも大好きな花を育て楽しんでいる事と存じます。残念ながら、秋の研修旅行も中止と決定せざるを得ませんでした。

本会の目的は会員の相互啓発とつながりを深めて行く事にあります。そこで集まらないこの状況だからこそ出来る事を考えました。皆様は地元で地道に素晴らしい活動をされています。それをこのサポーター通信でお知らせしようという企画です。各地で皆様がどんな活動をされているのか、どんな思いでされているのかをお伝えしていこうと思います。

8月は中部地区。10月は東部地区。12月は西部地区。2月は県全体から。この会報を見て自薦、他薦ください。団体だけでなく個人のお庭も、取材に出向きたいと思います。皆様のお声を聞かせて下さるのを、楽しみにお待ちしております。

サポータークラブ会長
斎藤玉子

1 “草薙の輪プロジェクト” 瀧絹代さん、大石道子さん



瀧) プロジェクト開始後2年目から参加しています。駅前の道を綺麗にしたかったので。花が思うように咲いた時がうれしい。何年も続けてきたおかげか気がついてくれる人が増えました。“荷物運びましょうか”と言われたりします。

大石) 最初の年から参加しています。草薙駅前は学生さんや多くの方が通ります。駅からの道に花がありそれを見て穏やかな気持ちになってくれればと思います。作業していると声をかけてくれる。商店街の人が感謝してくれるのは嬉しいですね。



○活動の課題

瀧) 例年は園児がきてくれたり、今年も初めて参加された方がいました。花壇がたくさんあるので、段取りよく植えたいが中々うまくいきません。これからはしっかり設計して、花育の要素なども取り入れて参加してくれる方に何かしらプラスになると良いと思います。

○あなたにとって花とは？

瀧) 花は生き甲斐！コロナ禍も花があるので乗り越えられる。

大石) 昔、大変な時に花屋さん前を通ったら心がすっとした経験があります。植物の美しさから癒しを、花から人生を教えてもらっています。

JR 草薙駅前の「草薙の輪プロジェクト」今年で活動は9年目。市役所の清水駅周辺整備課のまちづくりプロジェクトの一環。現在会員は15人くらい。有度地区の広報で参加者を募集。取材当日の7月13日は大幅植え替えの日。今年も初めて参加された方がいました。例年は園児もいっしょに作業するのですがコロナ禍で今年はなく、市役所の方が例年より多く参加してくれたとのこと。お二人が皆さんから頼りにされていることと“花とは？”の質問に間髪いれずに率直に答えてくれたのが印象的でした。

2 “あいの街高松花の会” 戸塚紀美江さん



あいの街高松は2019年5月に開所しました。介護職としての経験は13年目。勤務しながら花壇作りをしています。グリーンバンクの研修で学んだり仲間ができたり助成金も頂いて運営しています。

毎朝涼しい時に利用者さんといっしょに散歩しながら花を摘んで室内に飾る。8月3日はベラボン（天然ヤシを加工してチップにした培養土。手が汚れない）を使って鉢植えエクレーションをやりました。

（先生は戸塚さんの友達で本会会員の千葉

祥子さん）皆楽しそうでした。他にも折り紙で花を作ったりします。



○やりがいは

ある日、千日紅など切り花を置いておいたら自分からその花を集めてコップに入れて飾った利用者さんがいた。そういう事がとてもこの仕事をしていて嬉しいんです。皆それぞれに人生を生きてきている中でその人のプライドを邪魔せずにその人の意思で動いてもらうこと。介護で大事なそういう気持ちに寄り添う事だと思うのです。

○これからやりたい事 次の花壇を準備して作りたいと思います。

○あなたにとって花とは 花を縁にいろんな人に会えたこと。

静岡市駿河区高松に小規模多機能型の介護施設「あいの街高松」があります。取材日の前日にベラボンを使っての鉢植えエクレーションをやったそうです。先生役の千葉さん曰く「戸塚さんは料理も作ったり忙しくてね～。すごい精力的」65歳から資格をとって13年目。この仕事が楽しくて仕方がないと終始にこやかにお話をしてくれました。力を頂き、勉強になりました。

3 “花と緑のまちづくり協議会 駿府公園 北門花壇”

石川みさ江さん、前田美千代さん、青木登紀子さん

*戸板弘子さん、梅川友子さん



青木) 静岡市の花と緑のまちづくり協議会の緑化活動の一環として始めて10年以上続けている活動です。週2回1時間ずつ活動して月に1回は高校生が今日のように参加してくれます。会員は20数名いて10人前後が作業に参加します。参加者の中には転勤族で数年だけ関わってくれる人とかもいるんですよ。駿府公園の中なのでビジネスマン、お散歩の人、保育園の皆さん、いろんな人が声をかけてくれて交流できるのが良いですね。



○心がけていること。長く続ける秘訣は

青木) とにかく草を生やさないようにしています。そして花が元気に咲いてくれれば良い。長く続けるにはとにかく花が好きという共通項が仲間とあること。それから気楽にやること。雨、祭日は休み。作業1時間のあとおしゃべりタイム。それが楽しいんです。

○あなたにとって花とは

前田) 日々の心の癒し 石川) 心のやすらぎ

青木) 心の癒し。母親も好きだったんですよ。花にいろんな答えを頂きました。

とても暑い8月6日、この日は、高校生の皆さんや協議会の方も参加して大人数で作業。倉庫から器具をてきぱき運んできて開始のあいさつをして始まりました。8月17日写真を撮りに再訪問。長く雨が降らないのに花が生き生きと咲いていました。青木さんに長く続ける秘訣を聞くと「気楽に」「無理をしない」というシンプルな答え。なんだかストーンと腑に落ちる感じがしたのでした。

*戸板さん、梅川さんは取材日に写真を撮れませんでしたでしたがメンバーです。